

トルコにおける合同大会について
(第2報)速報版

2009.10

2009年9月にアンカラ大学で打ち合わせ会と、巡検コースの下見を行いました。その結果、第1報から下記の点に変更になりました。

若手地形学者シンポジウムを開催する。

巡検を2回実施する。最初は日帰り巡検で、アンカラおよびその近郊、次は3日間巡検で中央アナトリアをまわる。

若手地形学者シンポジウムで口頭講演を行い、その後のメインシンポジウムと巡検に参加するものについて、旅費の援助を行う。

主催：

日本地形学連合、アンカラ大学、日本学術会議地形研究小委員会

期日：2010年9月12日から17日まで

2010年

9月12日(日) 若手地形学者シンポジウム(会場、アンカラ大学。なお、シンポジウムタイトルは業績リストに表記しやすいように、次報までに決定します。学部生、大学院生、ポスドククラスの口頭講演を優先する予定です。)

9月13日(月) メインシンポジウム(会場、アンカラ大学)
「アルプス・ヒマラヤ帯における地形プロセスとその発達に関する国際シンポジウム」
(招待基調講演、口頭講演、ポスター講演)
レセプション(夕食時)

9月14日(火) 一日日帰り巡検(アンカラ市内(アタチュルク廟、アナトリア文明博物館)、ボアズカレ(ハットウシャ、ヒッタイト帝国の王都))

9月15日(水) - 17日(金) 2泊3日巡検(カッパドキア、クズルウルマック川(赤い河)、ハッサンダー(火山)、トウズ湖(塩の湖))

参加費：

若手研究者シンポジウム 無料

メインシンポジウム 一般 40ドル、大学院生、無給またはパート研究員など 20ドル

1日巡検(日帰り) 一般 40ドル、大学院生、無給またはパート研究員など 20ドル

3日巡検(2泊3日) 一般 シングルルーム利用 320ドル、一般 ツインルーム利用 240ドル、
大学院生、無給またはパート研究員など ツインルーム利用 160ドル

(9月15日16日の2泊分の宿舎代込)

宿舎：

アンカラにおける宿泊は下記のように手配します。

アンカラ市内のホテル(アンカラ大学近く)

シングルルーム 90ドル、ツインルーム 50ドル (共に朝食付き)

大学宿舎*

シングルルーム 35ドル、ツインルーム 25ドル (共に朝食抜き)

*できるだけ希望者はすべて大学宿舎に宿泊できるように努めますが、難しい場合は大学院生、若手研究者を優先します。

メインシンポジウム（会場、アンカラ大学）:

タイトル「アルプス・ヒマラヤ帯における地形プロセスとその発達に関する国際シンポジウム」

招待基調講演、口頭講演、ポスター講演を行います。招待基調講演には、トルコおよび周辺諸国で地形研究を行っている日本トルコの研究者を招聘する予定です。一般研究発表（口頭およびポスター）については、公募となります。シンポジウムのタイトルはトルコ側の希望そったものですが、実際には幅広い分野からの講演が可能ですので、積極的に申し込みをお願いします。口頭発表は各 15 分程度を予定しています。

シンポジウム会場:

アンカラ大学言語歴史地理学部（アンカラ市スヒエ）

アンカラ市街地の中心に位置しています。アンカラ空港からのリムジンバスの発着場所にも近く、大学周辺には、ホテル・レストランが多くあります。

若手地形学者シンポジウム（会場、アンカラ大学）:

学部生、大学院生、ポスドククラスの地形学者が自由に研究発表を行い、交流をまじえることができるように企画しました。日本、トルコのほか、韓国、台湾、モンゴル、中国などから、参加者を招聘する予定です。どなたでも参加は自由ですが、講演（口頭発表）は学部生、大学院生、ポスドククラスの地形学者を優先します。シンポジウムのほか、交流親睦会などを予定しております。

なお、シンポジウムタイトルは業績リストに表記しやすいように、次報までに決定する予定です。また、講演要旨のみではなく、適当な学術雑誌に英文でプロシーディングを発行し、業績に加えられるように配慮します。

もちろん、若手シンポジウムとメインシンポジウム両方での講演をお勧めします。

若手研究者旅費補助:

日本からの参加者で、学部生、大学院生および、旅費の自弁が必要な若手研究者のうち、この若手地形学者シンポジウムで口頭講演をし、その後のメインシンポジウムと巡検に参加する方について、渡航費の援助を行います。具体的な金額方法などについては、九州大学鹿島まで早めにお尋ねください。

巡検:

日帰り巡検

9月14日 朝 アンカラ市内見学（アタチュルク廟、アナトリア文明博物館）その後ボアズカレまで移動して、ハットウシャ（ヒッタイト帝国王都）見学。午後7時ごろアンカラ帰着予定。

ヒッタイト帝国は、紀元前1700-1200年ごろアナトリア高原を中心に栄えた帝国です。初めて鉄器を用いたこと、遠く遠征し、エジプトのラムセス2世と大会戦を行ったことなどで有名です。突然滅亡したことから、謎の帝国とも言われ、多くの小説や漫画の題材となっています。

2泊3日巡検

9月15日 アンカラ出発、巨大シンクホール（ムジュール）、河岸段丘（クズルウルマック川（赤い河）、アバノス（陶土）、ネブシェヒル（宿泊）

9月16日 カップドキア（奇岩、洞窟教会など）、火山性堆積物、火山地形、ネブシェヒル（宿泊）

9月17日 クレーター湖と年縞堆積物、自噴温泉（アジ湖、ナール湖）、ハッサンダー（成層火山）と火口丘列、活断層（アクサライ）、トウズ湖（塩湖）、アンカラ到着（午後6時ごろを予定）

この巡検では、アンカラから南東に位置するカップドキアを中心にして、その周辺の地形を見ます。火山および火山性堆積物の形作る地形のほか、石灰岩地形、河岸段丘地形、活断層地形、地下水、湧水などに関する巡検となります。

帰着時間は交通事情で遅れる可能性があります。当日夜アンカラを出発される場合には、事前にご連絡ください。なお、航空機などの都合で一日早く戻られる場合などは、ネブシェヒルからアンカラまで直接、バスによる帰着が可能です。

アンカラまでの交通：

アンカラ空港には、トルコ航空とオーストリア航空が乗り入れています。その他の便では、イスタンブールまでとなります。イスタンブールとアンカラ間は、トルコ航空が毎日 25 便程度運航しています。トルコ国内の国内線のチケットは、日本からもトルコ航空のホームページから簡単に予約購入できるようになりました（<http://www.thy.com/ja-JP/>）

また、イスタンブール・アンカラ間には、夜行列車および多数のバス便があります。一般にトルコ国内では夜行バスによる移動が安価で快適です。

なお、日本トルコ間の航空券はできるだけ早めにご予約願います。またトルコ国内の交通、イスタンブールやその他の都市の宿泊情報などについても、九州大学鹿島までお尋ねください。

アンカラ市内の交通：

アンカラ空港からは空港リムジンバスが利用できます。リムジンバスのバスターミナルは、会場のアンカラ大学言語歴史地理学部（アンカラスヒエ）の近くに位置します。タクシーまたはリムジンバス会社のサービスバスによって移動できます。ある程度の方がまとまって到着される場合、早朝深夜など、特に必要と思われる場合には、出迎えの手配をいたします。

イスタンブールからバス、電車でアンカラに到着された場合は、ターミナルから地下鉄またはタクシーでの移動となります。到着時間と方法についての情報は、必ず事前にご連絡ください。帰途についても同じです。安全な移動のための手配をいたします。アンカラ大学は地下鉄スヒエ駅の目の前に位置しています。

現地の気候と風俗：

日中と夜間の寒暖差が大きく、昼間はTシャツで充分ですが、夜間にはジャケット・セーターなどの防寒着が必要になります。9月中ごろは乾季終盤にあたるため、たまに雨が降ることがあります。防寒対策の手配にはご注意ください。

なお、トルコはイスラム国ですが、飲酒は認められ、普通のトルコ国民も飲酒します。ビールのほか、トルコ産のワイン、ラク（水を加えると白濁するウォッカ）が有名です。トルコ料理は世界の3大料理に数えられており、食事を楽しむことができます。

今後のスケジュール：

2010年2月 第2報（正式版）送付

2010年5月31日

参加宿泊申し込み、メインシンポジウムおよび若手地形学者シンポジウム講演申し込み締め切り

2010年7月31日 講演要旨の送付、参加費宿泊費支払い締め切り

2010年8月初旬 最終案内の送付

連絡先：

（トルコ）

Hakan Yigitbasioglu（アンカラ大学言語歴史地理学部地理学教室）

Tel: +90-312-3107271, Fax: +90-312-3093673, e-mail: yigitbasioglu@gmail.com

Ugur Dogan（アンカラ大学言語歴史地理学部地理学教室）

Tel: +90-312-3103280, Fax: +90-312-3305713, e-mail: ugdogan@yahoo.com

（日本）

鹿島 薫（九州大学大学院理学研究院地球惑星科学部門）

Tel: 092-642-2696 Fax: 092-642-2684 e-mail: kashima@geo.kyushu-u.ac.jp

参加申込書

申し込み締め切り 2010年5月31日

氏名 (和文) (英文)

所属 (和文) (英文)

連絡先 (和文のみ)

e-mail

学生大学院生および無給研究員またはそれに準じる方などで、割引の参加費宿泊費の対象となられる方は、学年またはその身分をお書きください。パート職員扱いの研究員などで、ご自身で判断が難しい場合は、その旨をお書きください。

参加申し込み (丸をつけてください)

若手地形学者 シンポジウム 2010年 9月12日	メインシンポジウム 2010年 9月13日	一日巡検 アンカラおよび郊外 2010年 9月14日	三日巡検 中央アナトリア カッパドキア 9月15 - 17日

講演申込

メインシンポジウム

一般研究発表 (口頭、ポスター)

著者名と所属 (英文のみ)

講演タイトル (英文のみ)

若手地形学者シンポジウム (口頭のみ)

著者名と所属 (英文のみ)

講演タイトル (英文のみ)

(なお、両方のシンポジウムでの講演が可能です。若手地形学者シンポジウムでは、学部生、大学院生、ポスドククラスの地形学者の講演を優先します。講演要旨の書式などは後日送付します。講演要旨送付締め切りは2010年7月31日です)

アンカラでの宿泊申し込み (必要な箇所に丸をつけてください)

2010年

9月11日 市内ホテル(シングル、ツイン)、大学宿舎(シングル、ツイン)
9月12日 市内ホテル(シングル、ツイン)、大学宿舎(シングル、ツイン)
9月13日 市内ホテル(シングル、ツイン)、大学宿舎(シングル、ツイン)
9月14日 市内ホテル(シングル、ツイン)、大学宿舎(シングル、ツイン)
9月15日 市内ホテル(シングル、ツイン)、大学宿舎(シングル、ツイン)*
9月16日 市内ホテル(シングル、ツイン)、大学宿舎(シングル、ツイン)*
9月17日 市内ホテル(シングル、ツイン)、大学宿舎(シングル、ツイン)
9月18日 市内ホテル(シングル、ツイン)、大学宿舎(シングル、ツイン)

*2泊3日巡検に参加される方は、9月15日16日の宿泊費は巡検費に含まれています。

若手地形学者シンポジウムに参加される方は9月11日夜または12日早朝までにアンカラに到着される必要があります。その他の希望がある場合は、余白に記入願います。

トルコへの航空便

行き (日時; 便名; 到着場所)
帰り (日時; 便名; 到着場所)

アンカラへの到着日時とその方法 (日時; 方法 航空機(便名)バス 列車
アンカラからの出発日時とその方法(日時; 方法 航空機(便名)バス 列車
未定の場合は、決まり次第ご連絡ください。

支払いについて

参加費(該当する項目に丸をつけてください)

若手研究者シンポジウム	無料
メインシンポジウム	一般40ドル、 大学院生、無給パート扱い研究員など20ドル
1日巡検(日帰り)	一般40ドル、 大学院生、無給パート扱い研究員など20ドル
3日巡検(2泊3日)	一般 シングルルーム 320ドル、一般 ツインルーム 240ドル、 大学院生、無給パート扱い研究員など ツインルーム 160ドル

宿舎費

アンカラ市内のホテル

シングルルーム 90ドル	泊数	宿泊費合計
ツインルーム 50ドル	泊数	宿泊費合計

大学宿舎

シングルルーム 35ドル	泊数	宿泊費合計
ツインルーム 25ドル	泊数	宿泊費合計

参加費宿泊費 合計 ドル

支払い方法については、後日連絡します。支払期限は2010年7月31日です。

申込書送付先

鹿島 薫(九州大学大学院理学研究院地球惑星科学部門)

812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1

Tel: 092-642-2696 Fax: 092-642-2684 e-mail: kashima@geo.kyushu-u.ac.jp

できるだけe-mailでお申し込みください。

(参考資料)



トルコ主要部地図



アンカラ市内地図



カッパドキア、ロックコントロールによる「奇岩」地形



爆裂火口湖跡と火口丘
(カッパドキア西方アジギョル)



石灰岩地域におけるシンクホール
(カッパドキア北西、ムジュール)



クズルウルマック川（赤い河）における河岸段丘地形と堆積物
(カッパドキア北西、ムジュール)